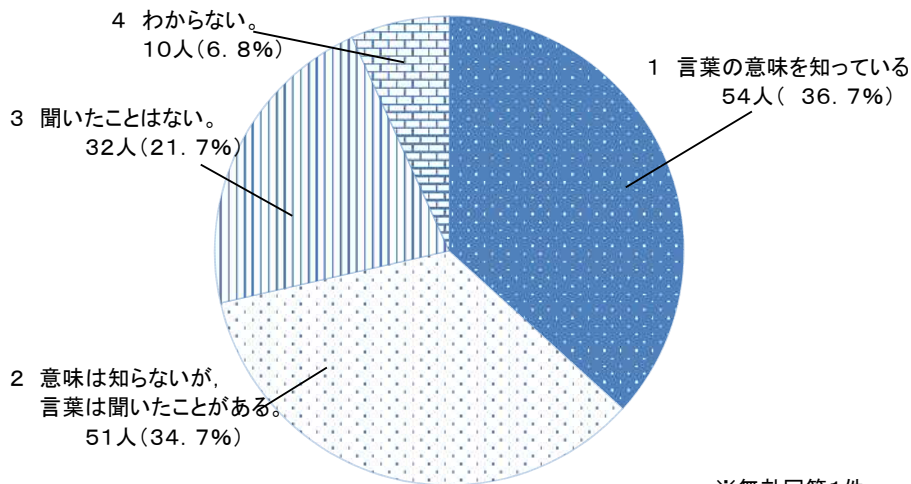


# 平成30年度 第1回 県政モニターアンケート

担当課: 環境林務部自然保護課  
電話: 099-286-2613

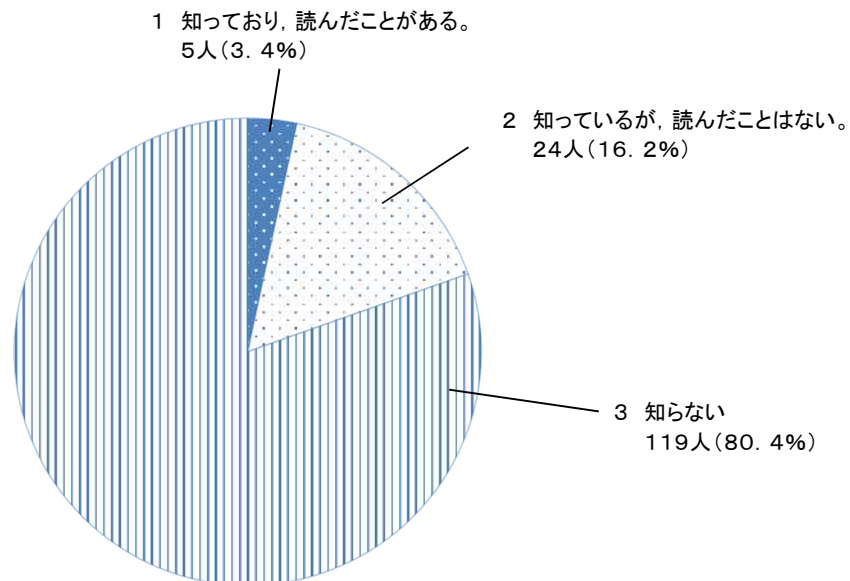
- テーマ            テーマ「鹿児島県の生物多様性」について
- 調査の目的        鹿児島における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本計画として策定した「生物多様性鹿児島県戦略」の中間評価、見直しの参考とするため実施するものです。
- 調査時期          平成30年5月
- 回答者数          148人(74.0%)

問1 あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか。

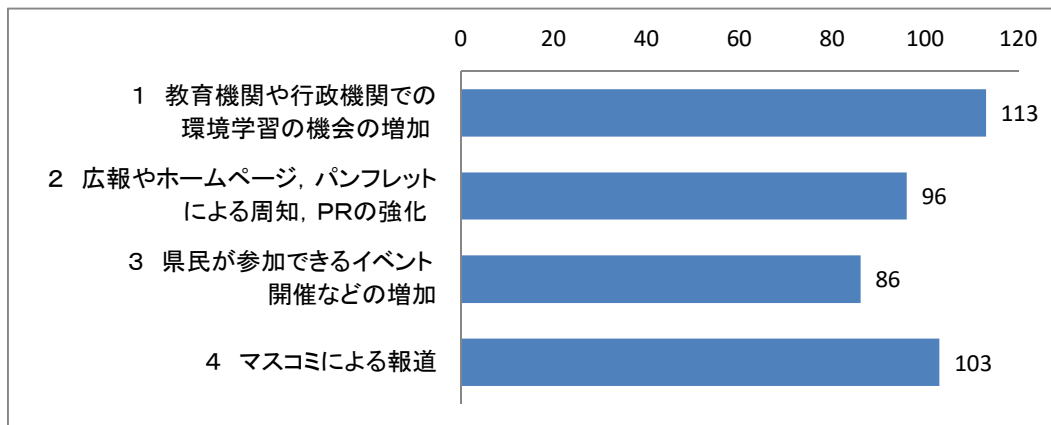


※無効回答1件

問2 あなたは平成26年3月に「生物多様性鹿児島県戦略」が策定されたことを知っていますか。



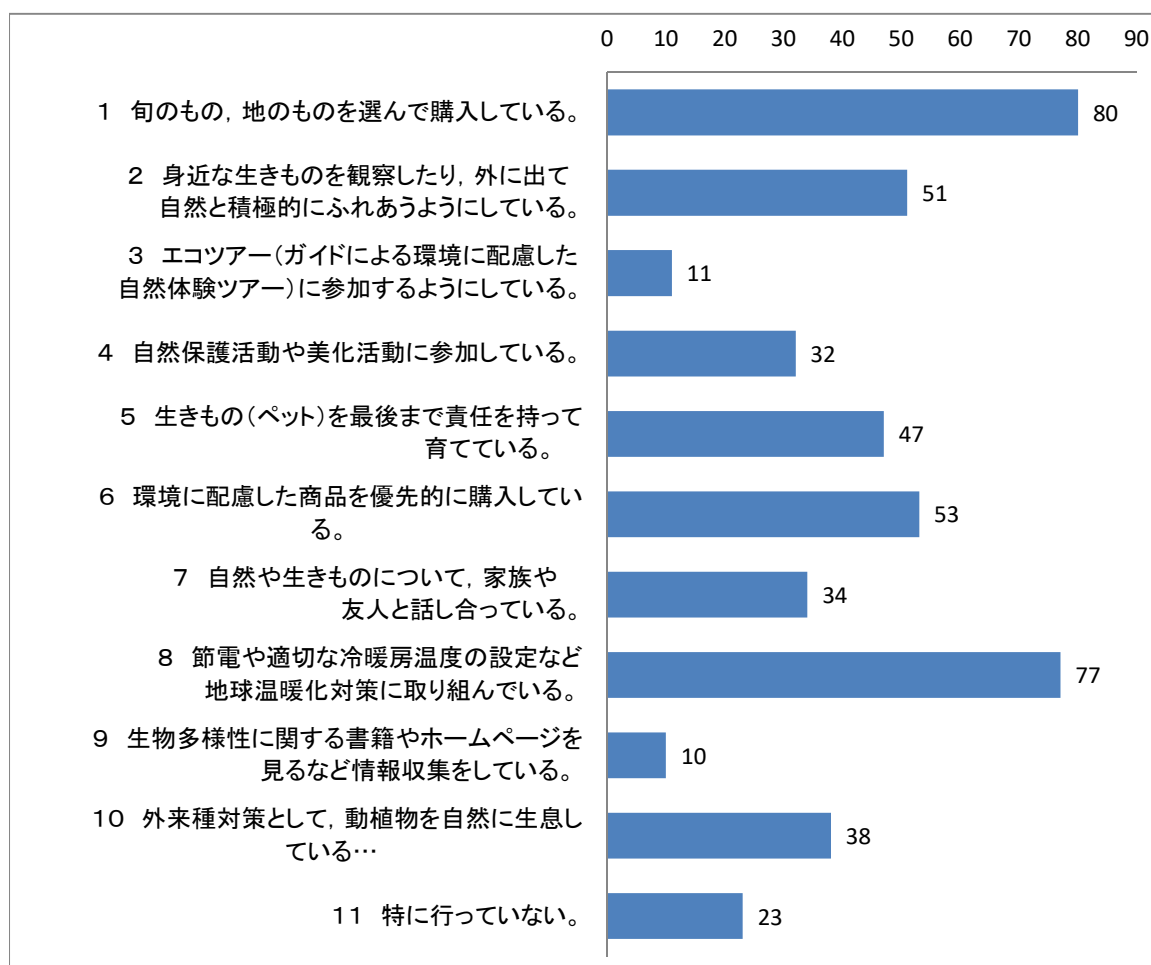
問3 「生物多様性」とは、たくさんの種類の生き物たちがいて、それぞれにつながっていることをいいます。こうした、生物多様性の大切さを県民に浸透させるためにあなたは何かが必要だと思いますか。(複数回答可)



5 その他(一部抜粋)

- ・水族館, 動物園, 植物園, 公園等が連携したイベントの開催
- ・食と命のつながり教育
- ・地域のボランティア活動等の小中学生への紹介, 呼びかけ
- ・生物多様性にマイナスになる県の事業の見直し
- ・マスコミ等の報道を繰り返す
- ・親を対象とした環境教育の実施

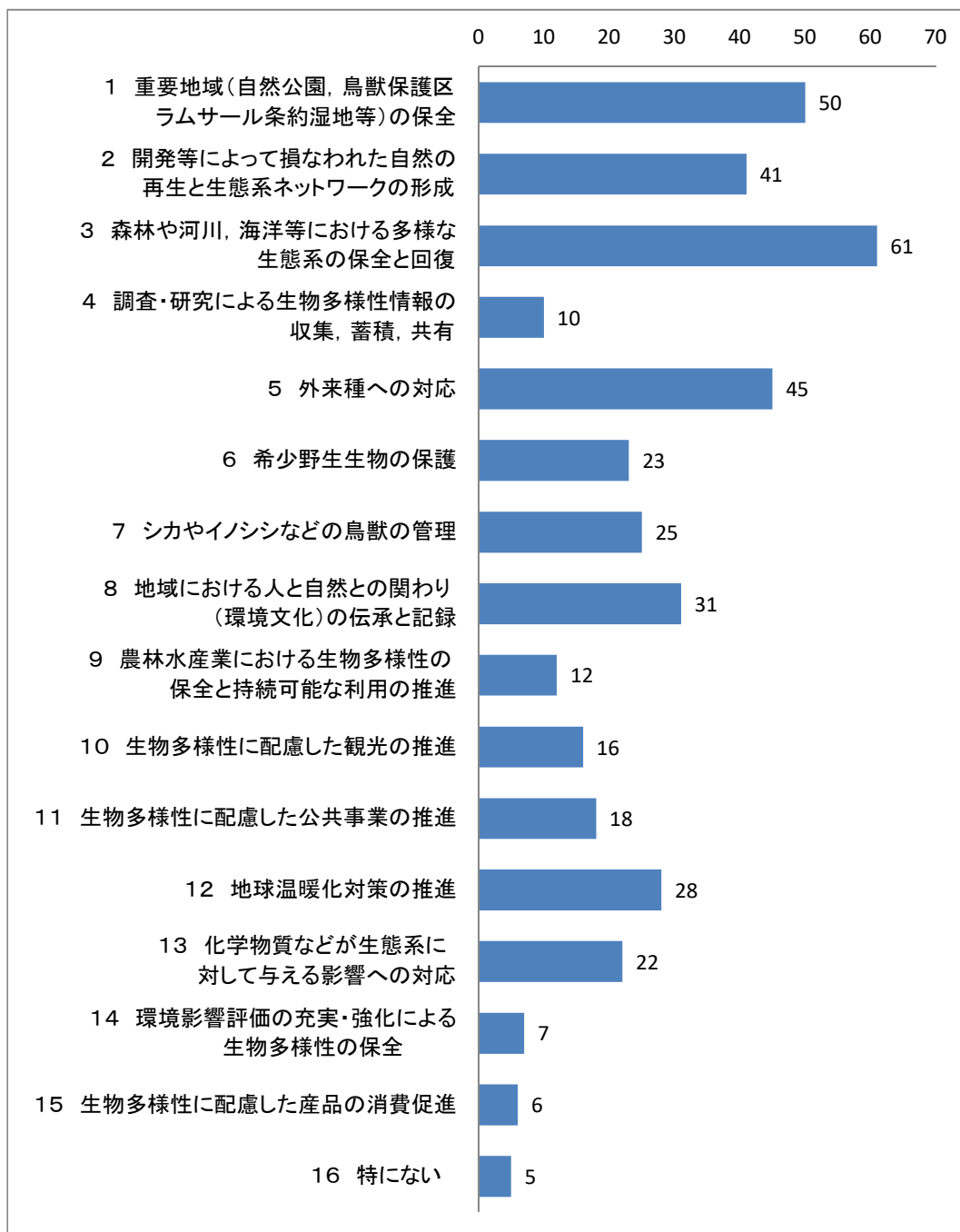
問4 あなたは、生物多様性を守るために、日頃からどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



12 その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)

- ・生き物を大切に生きる
- ・県のモニターをし、行政の問題点を指摘する
- ・地域ねこのTNR(不妊手術)ボランティア
- ・楽しく環境のことを学べる場づくり

問5 生物多様性鹿児島県戦略では、新たな「自然と共生する社会」の実現のため以下のような取組を掲げています。重点的に取り組むべきだとあなたが考えることはどれですか？（回答は3つ以内）



17 その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)

- ・ 県職員はじめ公務員の「自然の大切さ」への意識高揚
- ・ 県による生物多様性の持続とは矛盾する開発などを見直すこと
- ・ 奄美における野ネコに関する住民教育
- ・ TNR(不妊手術)し, えさを与えることでクロウサギへの被害を防ぐ
- ・ アマミノクロウサギは特定の道を通る習性があるかと思うので, 調査し, 住民との共有で, 自動車にひかれるウサギを減らす。

問6 御意見・御感想をお聞かせください。(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)

- ・ まずは幼稚園、小学校から取り組みをする事で、親に目にする機会をつくり、広げていってほ

- ・生物多様性のキャッチフレーズにもう少しわかりやすい言葉をそろえる方がよいと思います。
- ・「生物多様性」という言葉には人間は自然界を超越しているというおごりを感じる。危険だからといって自然へのかかわりを禁止している現在では、本当の生物多様性の大切さは浸透しないと思う。
- ・100年後、1000年後どうい地球環境であるか、また、どのようだったらいいと想像できるか 考える機会話す機会などを増やしたいと思いました。一人一人のできることは意外と大きいと思います。
- ・奄美大島の世界遺産の登録の更なる対策を行ってほしい。
- ・昔の川や池が少なくなり、孫に体験させてやりたい、博物館主催のツアーに行ったことがありますが、もっと多く実施されるとあると嬉しい。
- ・「生物多様性鹿児島県戦略」のことを詳しく知りませんでした。今後、広報などに注意してみたい。
- ・今回のアンケートで生物多様性を考えるきっかけとなりました。
- ・環境関連の予算を、今以上に計上して、調査やPR活動を強化できないものでしょうか。
- ・県が取り組んでいることを知りませんでした、とても大切なことだと認識しました。今後、私自身も出来ることをしていきたいと思いました。
- ・地球温暖化が進んでいますが、生物多様性「自然と共生する社会」を改めて考えさせられました。自分に何が出来るか？
- ・市電の線路近くに住んでいますが、最近植物が変化しています。名前がわかりませんが、ナズナに似たもの、メシバの巨大種、マツヨイグサ、特攻草など目立って来ています。いずれも、従来の草より強く大きいものが目立ちます。郊外でも同様かなと思いますが、広報などで変化の姿を一般の人たちに知ってもらうのも必要でしょうか。
- ・自然環境の保全が重要だと思います。自然と共生する社会が人間が住みやすい環境だと思います。
- ・県自体が、マリンポートなど山をひらいて大型の公園やスポーツ施設をつくるなど、生物多様性とは逆の開発や無駄とも思える公共事業を率先して見直す姿勢をもっと明確に示すべきと思う。
- ・もっとPRした方がいい
- ・これを機会に、生物多様性について一層の関心を持つようにしたい。
- ・鹿児島島の土地柄かとも思うが、(熱しやすくさめやすい)長続きする(関心)アピールも県・市共々お願いしたい。
- ・生物多様性について考えることは自分の日頃の生活、ふるさと(特に自然)を考える事だと思います。多様性があるからこそ多様性は守られていると思います。
- ・県の金銭的な負担が大きいとは思いますが、鹿児島県の生物多様性についての説明資料を各戸に配布してはどうでしょうか。

- ・地球上の全ての命が繋がっていることを一人一人が自覚できる社会創り…それが出来るといいですね。次世代に是非残していきたい命の大切さ！
- ・街の落ちているごみが海、川に流れて非常に残念です。清掃ボランティア募集など市民参加イベントなど開催してほしい。できれば、県民であれば市町村出身、住まい別ではなく、誰でも参加できる条件にしてほしい。参加したくても〇〇市在住、〇〇市勤務だと参加できなくて、差別しているように感じます。
- ・人や動物など地球で生きる者たちにとって重要なことなので、もっとみんなが意識して生活していく必要があるのかなと思いました。
- ・自然を大切に作る心を育てる教育の推進
- ・鹿児島県は広く、島も多く、他県にはない自然、生物、島、花、植物が存在している。これをどう守るか、行政は全体適に、住民は自分の市、町、村のことをしっかり見て見守り、共同体の素晴らしい自然づくりに懸命に努力尽力して欲しい。
- ・初めて目にした言葉でした。自然に恵まれた鹿児島なので、環境を壊すことのないよう県民で取り組むべきだと思います。
- ・「生物多様性」という言葉の広報がほとんどなされていないのではないかな。もう少し、軟らかい表現で親しみやすくした方がよいと思う。
- ・戦略の重要性は認識するが、「生物多様性」のキーワードから直接、保全という内容は連想できない。分かり易い言葉はないですか。
- ・①田舎ではネコ、犬等が一箇所に繁殖していて困る場合がある。(多様性とはちょっと違うが環境の部類に入るのでは)  
②河川は災害等関係もあるが、火災等の場合、逆に活動できる利用法もあります。2級河川の利活用を少しづつでも進めてほしい。
- ・県内の川の水質や空気(気候等)の臭気…地質等の美化による生物の保護。
- ・実家(湧水町)で、85歳の父が米作りをしております。幸い、今年は(竹中池の水で作っている)変わらず作れますが、風評被害、水害が出ない事を願います。(隣は川内川)でも水は池の水です。
- ・戦略をホームページで拝見しましたが、余りにもページが多く、理解するには相当の努力と覚悟が必要と感じました。
- ・地球という共同体を「ニンゲン」が己の都合や欲求等により破壊していく状況の中で、「自然と共生する社会」を実現していくことは、かなり難しいことのような気がします。このままだと、地球の破滅の方が早いような感じもしますよね。
- ・ゴミのポイ捨てなど、環境に悪影響を及ぼす事業が多発している中、生物多様性まで問題が出ている事を学校、家庭で教えていく機会が少しづつでもあるようにマスコミ報道で取り上げてほしい。
- ・ビデオ等をたくさんつくり、教材用途に使用してほしい。
- ・生物多様性という言葉自体が難しすぎるのでは？わかりやすい言葉で伝えることが大事だと思う。
- ・知らなかったのだからこれから勉強します。

- ・ 次世代に伝えていくために、学校教育の中で生物多様性、環境教育を積極的に取り入れるべき。
- ・ 外来種の対策を強化してほしい。
- ・ このような機会がなければ「生物多様性」ということを考える事もなかったと思います。
- ・ 外来種(特に植物)との認識がなく、知らず知らずのうちに増殖している種がある。地方自治体との連携が大事だと感じます。県→地方→各コミュニティ→回覧→各個人世帯への連絡
- ・ 欲しいものがいつでも手に入る時代となり、食べ物や自然のありがたさを感じる事が少なくなっていると思うので、最も身近である「食」をテーマとして地産地消を心がけ、生物多様性について考えていくべきだと思います。
- ・ 片田舎では近年サルやイノシシ・タヌキなどの出没で畑を荒らされたり迷惑に思っています。生物多様性などどうなる事かと不安です。
- ・ 美しい自然の保全、維持する心を育てていきたいです。
- ・ 生物多様性という言葉も初めて聞いたので、もっと勉強して考えていかなければと思いました。
- ・ 生物多様性のことは知らなかったが、普段行っていることが自然と共生する事につながっているようで、なんとなく納得できた。もう少し、知る必要があると思った。
- ・ シカや猿が増えて、生活の場まで入り込んできた影響でシカ、猿により持ち込まれたヒルが家の周りで生息、雨が降り湿気が多い時期には被害を被ることが度々です。これも生態系が壊れていると言うのでしょうか。現在は駆除されて、シカや猿は出没しませんが。
- ・ 奄美自然遺産登録も延期になり、とても残念な事だと思います。延期理由にも生物多様性の事が書かれてありました。島民、県民改めてもう一度考える時間が必要だと思います。
- ・ 生物多様性の考えはとても重要だと思うので、この地球の自然環境を守るためにもどんどん取り組むべきだと思います。
- ・ 目先だけの利益のための開発は生態系に大きく影響してしまうので、持続可能か、自然への影響はどうか、といった点を考慮すべきだと思います。
- ・ 一人ひとりがゴミのポイ捨てをやめ、地域での清掃活動に参加してキレイな環境を保ち、野生生物の住む場所も守り、自然遺産にも登録されてほしいです。
- ・ 鹿児島県は本島に自然も人も素晴らしい県だと感じます。だからこそ何世代先まで持続可能な県であってほしい。都心のように利益だけを重視した場所で会って欲しくないと思えます、鹿児島県は小さな離島がいくつもあります。小さいからこそ悪くなるときは急速に悪くなってしまう(環境汚染など)。それだけ意識し続けていくことが持続可能な離島につながっていくと思います。これまでご先祖様達が共生・調和してきた伝統の心を受け継いでいく精神を育む教育が何より大切だと思います。
- ・ 県民一人一人の知識と意識の有り方、もち方をどうするかだと思う。
- ・ 先ずは多くの方に興味を持ってもらう事が重要だと思います。